1学期　「綿を育てよう」

6月、綿の種をまきました。観察をしながら、大切に育てています。

7月。すくすくと育っています。秋にはたくさんの綿が収穫できそうです。

糸紡ぎ体験をしよう

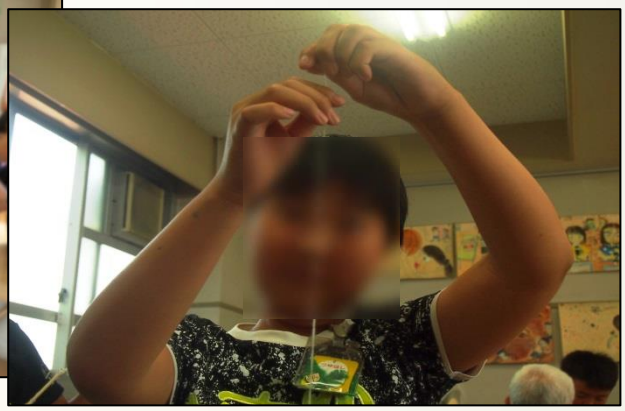
（1） 実践の様子

6月23日に外部講師の方を招き、「綿から糸へ」というテーマで綿の栽培の歴史や糸紡ぎの仕方について教えていただきました。

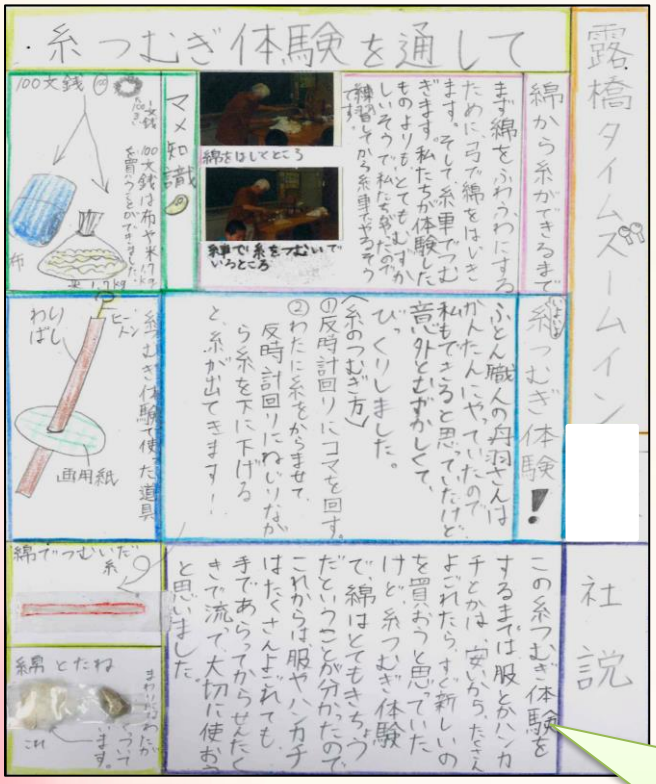
先人がどのように糸を紡いでいたのか、道具を実際に使いながら詳しく教えていただきました。

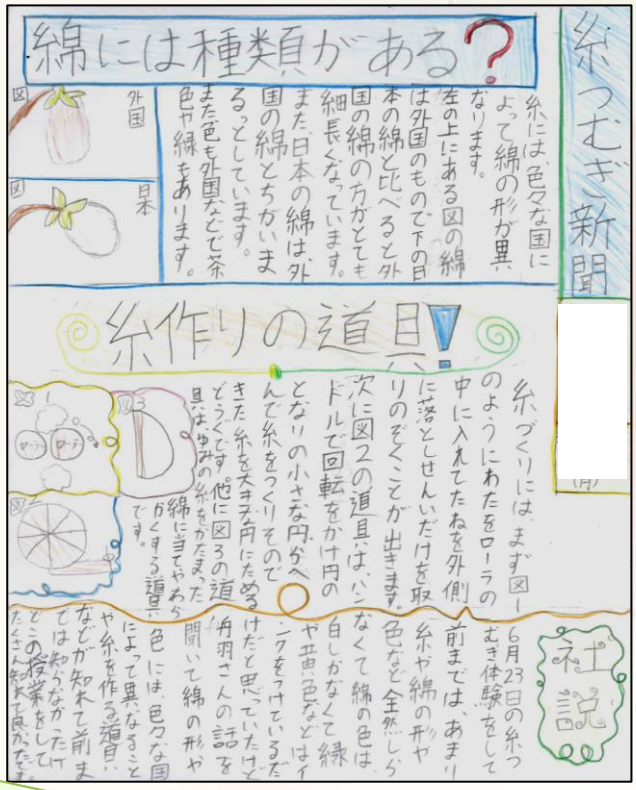
綿から種を出す活動をしました。ふわふわの綿から種を取り出す難しさを体感しました。

事前に「こま」という道具を一人一人作って用意し、それを使って糸紡ぎ体験をしました。



糸紡ぎの難しさを体感し、匠の技術のすばらしさを感じ取っていました。





学んだことや感じたことを文章にまとめ、布製品を大切にしていこうという気持ちを高めることができました。

1学期のまとめ

「綿を育てよう」では、匠の技を間近で見たり、昔の道具に触ったりと貴重な体験をすることができました。子どもたちは、たくさんのつぎはぎがある大きな一枚布を見て、今日では、安く手軽に手に入る衣服も、昔の人は何度も直しながら大事に使っていたことに気付き、物を大切にする心を学ぶことができました。また、綿の種取りの機械を見たときには、「こんな道具を作った人はすごいなあ。」と、先人の知恵のおかげで、今日の私たちは便利な暮らしができていることにも気付くことができました。

糸紡ぎ体験では、綿から糸にしていく作業の大変さを感じることができました。「綿から糸ができると聞いて驚いたけど、それがこんなに難しいとは思わなかった。」と、糸一本を作るのにも高い技術と経験が必要であることを学びました。講師の方からは、『「下手だ、下手だ。」と言われたら、それを「がんばれ、がんばれ！」と言われたと思ってがんばれば、だんだん上手になってくる。「下手だ。」と言われてもあきらめずに努力することが大切だ。』という言葉をいただき、子どもたちは感銘を受けた様子でした。